
第3次府中市公共施設マネジメント推進プラン

令和4年度（2022年度）～令和7年度（2025年度）

令和4年1月

府中市

目 次

第1章	公共施設マネジメント推進プランについて	1
1	公共施設マネジメント推進プランの位置付け	1
2	公共施設マネジメント推進プランの計画期間	1
3	公共施設の状況及び取組の背景	2
(1)	老朽化の進行	4
(2)	健全財政の維持	5
(3)	多様化する市民ニーズへの対応	6
4	関連する計画	7
(1)	第7次府中市総合計画前期基本計画	7
(2)	府中市公共施設等総合管理計画	7
(3)	府中市公共施設マネジメント基本方針	7
5	対象施設の定義	11
第2章	第1次及び第2次府中市公共施設マネジメント推進プランにおける取組	12
1	計画期間における取組	12
(1)	最適化に向けた施設別の取組	12
(2)	計画的保全の取組	12
(3)	モデル事業	13
2	取組の効果	18
(1)	総量抑制・圧縮の取組による効果	18
(2)	その他の効果	20
3	取組を踏まえた課題の整理	21
(1)	既存施設・機能の有効活用	21
(2)	施設規模・機能の見直し	21
(3)	大規模施設の更新費用等の縮減及び平準化	21
(4)	指標に基づく取組及び市民認知度の向上	21
第3章	第3次府中市公共施設マネジメント推進プランについて	22
1	取組概要	22
2	プランの構成	22
(1)	最適化に向けた施設別プラン	22
(2)	計画的保全の取組	22
(3)	モデル事業	22
3	公共施設マネジメントの取組の推進に向けて	23
第4章	最適化に向けた施設別プラン	24
1	市民会館	28
2	府中の森芸術劇場	30
3	府中の森芸術劇場分館	32
4	市民活動センター「プラッツ」	34
5	旧府中グリーンプラザ分館	36
6	郷土の森博物館	38
7	ふるさと府中歴史館	40
8	美術館	42
9	生涯学習センター	44
10	中央図書館	46
11	地区図書館	48

1 2	文化センター	5 1
1 3	総合体育館（郷土の森総合体育館）	5 4
1 4	地域体育館	5 7
1 5	市民総合プール（郷土の森総合プール）	6 0
1 6	地域プール	6 2
1 7	市民陸上競技場	6 6
1 8	野球場	6 8
1 9	サッカー場	7 0
2 0	庭球場	7 2
2 1	小学校	7 4
2 2	中学校	7 6
2 3	学校給食センター	7 8
2 4	教育センター	8 0
2 5	子ども家庭支援センター「たち」	8 2
2 6	保育所	8 4
2 7	幼稚園	8 8
2 8	学童クラブ	9 0
2 9	特別養護老人ホーム・高齢者在宅サービスセンター	9 3
3 0	ふれあい会館	9 6
3 1	介護予防推進センター	9 8
3 2	心身障害者福祉センター「きずな」	1 0 0
3 3	保健センター	1 0 2
3 4	市営住宅	1 0 4
3 5	市民保養所「やちほ」	1 0 8
3 6	ハケ岳府中山荘	1 1 0
3 7	本庁舎	1 1 2
3 8	府中駅北第2庁舎	1 1 4
3 9	市政情報センター	1 1 6
4 0	観光情報センター	1 1 8
4 1	消費生活センター	1 2 0
4 2	リサイクルプラザ	1 2 2
4 3	男女共同参画センター「フュール」	1 2 4
4 4	自転車駐車場	1 2 7
4 5	府中駅南口市営駐車場	1 3 0
4 6	府中の森市民聖苑	1 3 2
第5章 計画的保全の取組		1 3 4
1	府中市公共施設保全計画の見直し	1 3 4
2	施設情報の一元化	1 3 4
3	建物の日常点検と劣化状況調査等の実施	1 3 5
4	改修工事及び修繕の優先順位付け	1 3 5
5	新たな事業手法の積極的な検討	1 3 6
6	委託業務の見直し	1 3 7
第6章 モデル事業		1 3 8
モデル事業5 府中駅周辺公共施設の効率的な更新と活用		1 3 8
モデル事業6 地域対応施設の機能連携と複合化		1 4 0

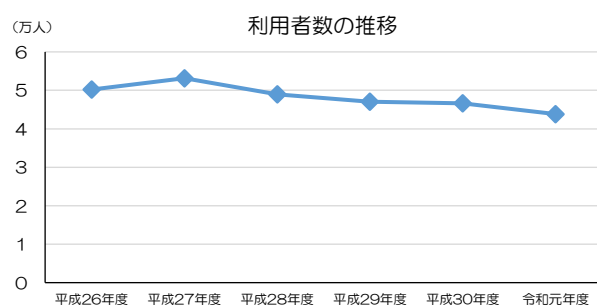
※ データの表記について

本書では、「パーセント」、「千円」などの表示単位によって、数値の端数処理を行っているため、内訳の数値と合計が一致しない場合があります。

4 3 男女共同参画センター「フュール」

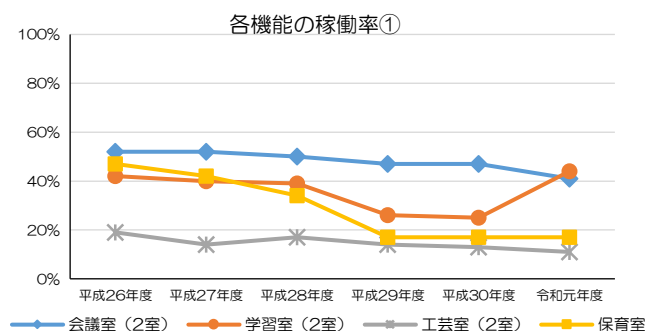
所在地	府中市住吉町1丁目84番地（中河原駅北口複合施設「ステーザ府中中河原」4階）		
階数	—	延床面積	1,656㎡
しゅん工年度	平成6（1994）年度	築年数	28年
目的	市民に男女共同参画社会に関する学習の機会並びに交流及び活動の場を提供し、男女共同参画社会の形成に寄与するための施設		
機能	交流広場、情報資料室、会議室、和室、学習室、学研室、工芸室、保育室及び相談室等		
管理形態	直営		

平成26年度から令和元年度までの各機能の利用者数等及び収支状況

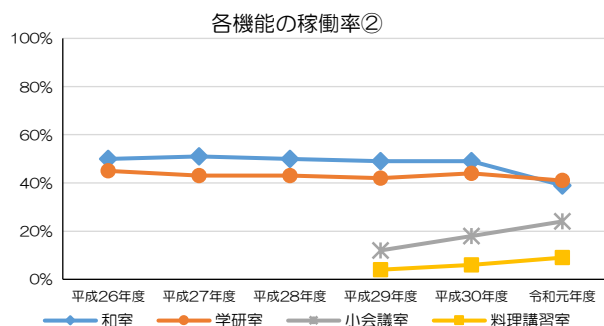


(人)

	利用者数
平成26年度	50,170
平成27年度	53,154
平成28年度	48,943
平成29年度	47,015
平成30年度	46,649
令和元年度	43,834



稼働率	会議室（2室）	学習室（2室）	工芸室（2室）	保育室
平成26年度	52.0%	42.0%	19.0%	47.0%
平成27年度	52.0%	40.0%	14.0%	42.0%
平成28年度	50.0%	39.0%	17.0%	34.0%
平成29年度	47.0%	26.0%	14.0%	17.0%
平成30年度	47.0%	25.0%	13.0%	17.0%
令和元年度	40.7%	44.4%	10.7%	16.8%

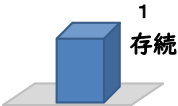


稼働率	和室	学研室	小会議室	料理講習室
平成26年度	50.0%	45.0%	—	—
平成27年度	51.0%	43.0%	—	—
平成28年度	50.0%	43.0%	—	—
平成29年度	49.0%	42.0%	12.0%	4.0%
平成30年度	49.0%	44.0%	18.0%	6.0%
令和元年度	39.3%	40.7%	23.8%	9.1%

※ 小会議室及び料理講習室は平成29年度から

(千円)

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
歳出	91,289	85,040	91,709	87,968	98,865	97,450
歳入	1,096	996	1,486	1,026	1,470	1,547

これまでの公共施設マネジメント推進プランでの取組内容	
検討の方向性	取組内容
第1次推進プラン 第2次推進プラン 	・利用者数の増加を図るため、男女共同参画に関する様々な講座を実施したほか、オンラインを活用した講座の実施により、施設周知を図り、新規の利用者の獲得に努めた。また、施設のPR活動として、センター名周知のためのグッズの配布などを行った。 ・歳入確保に向けた方策として、ネーミングライツの導入を検討し、1社から応募があったが条件が合わず、導入には至らなかった。 ・平成29年7月に消費生活センターが民間商業施設へ移転したため、空きスペースを小会議室及び料理講習室として使用することとした。

現状及び課題	
現状	・平成26年度から令和元年度までの稼働率は、いずれの機能も低い稼働率で推移している。 ・平成26年度から令和元年度までの収支状況は、歳出については年間1億円前後で、歳入については、100万円前後で推移している。 ・歳入は、主に使用料等によるものである。
課題	・利用者数の増加や稼働率の向上について、方策を再考する必要がある。 ・建築後28年が経過し、施設の老朽化が課題となっている。今後、施設の大規模改修等を検討していく中で、市民ニーズや利用状況を踏まえ、必要な機能を整理する必要がある。

現状及び課題を踏まえた今後の方向性	
今後の方向性	・施設の大規模改修等の時期を見据え、市民ニーズや施設の稼働状況などを踏まえた必要な機能の整理や、施設の在り方の見直しを行う。 ・機能の整理や施設の在り方の見直しを踏まえて、計画的に施設の維持管理を行っていく。 ・利用者数や歳入の増加に向けて、施設全体の有効的な活用や、事業の効果的な実施について検討する。



第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	◆設備の老朽化による大規模改修が必要となることを踏まえ、適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。 ◆効果的な事業の実施に向け、施設管理及び運営手法を検討する。 ◆更なる稼働率の向上に向けた方策を検討・実施する。			
スケジュール	R 4	R 5	R 6	R 7
	○周辺公共施設との複合化を見据えた大規模改修に向けて、施設の機能や規模に関する今後の在り方についての検討	▽継続	▽継続	●検討に基づく方向性の決定
	○効率的な施設管理及び運営手法について検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○稼働率の向上に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
期待する主な効果	◆効率的かつ効果的な施設の活用 ◆利用者数や歳入の増加 ◆市政情報の提供による市民活動への寄与			
担当課	市民協働推進部多様性社会推進課			